

韓国統一研究院との合同シンポジウムのご案内

1. 趣旨

朝鮮半島情勢は危機から対話へと、大きく転換しました。3度の南北首脳会談と米朝首脳会談では、朝鮮半島に「恒久的な平和体制」を構築することが謳われ、非核化とともに、朝鮮戦争の「終戦宣言」や制裁緩和をめぐる交渉が続いています。このたび、韓国政府のシンクタンクである統一研究院の金鍊鐵（キム・ヨンチョル）院長を基調講演者にお招きし、日韓の専門家とともに、文在寅政権が進める朝鮮半島平和体制の構想について幅広く議論する場を設けました。

多くの方々のご参加を心からお待ちしています。

2. テーマ： 「朝鮮半島平和体制の争点と展望」

3. 日時・会場

日時： 2018年11月12日（月）午後2時～6時半（1時半開場）

会場： 早稲田大学小野記念講堂（早稲田大学正門前）

4. プログラム（日韓同時通訳）

14：00－15：15 基調講演 金鍊鐵（統一研究院院長） 「朝鮮半島平和体制の争点と展望」
司会 金敬默（早稲田大学文化構想学部教授、同韓国学研究所）

15：15－15：30 休憩

15：30－16：45 第1セッション 「朝鮮半島の非核化・平和体制と北東アジアの安全保障」

司会： 李鍾元（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授、同韓国学研究所所長）

報告： 洪珉（統一研究院研究委員） 「朝鮮半島の非核化と平和体制」

道下徳成（政策研究大学院大学教授） 「終戦宣言と韓国の安全保障」

討論： 文章烈（国防大学教授）

李奇泰（統一研究院研究委員）

太田昌克（共同通信編集委員）

五味洋治（東京新聞論説委員）

16：45－17：00 休憩

17：00－18：15 第2セッション 「北朝鮮経済と北東アジアの経済協力」

司会： 金鍊鐵（統一研究院院長）

報告： 三村光弘（環日本海経済研究所主任研究員） 「北朝鮮経済―改革・開放の現状」

李映勲（SK経営経済研究所首席研究委員）

「朝鮮半島新経済構想と北東アジアの経済協力」

討論： 鄭恩伊（統一研究院副研究委員）
安秉珉（韓国交通研究員先任研究委員）
堀田幸裕（霞山会主任研究員）

18：15－18：30 全体討論

5. 講師紹介： 金鍊鐵（キム・ヨンチョル）

韓国統一研究院院長。成均館大学で「北朝鮮の工場管理制度」に関する研究で博士号を取得。三星経済研究所・北朝鮮研究チーム首席研究員として南北経済協力の現場を体験し、盧武鉉政権では統一部（省）長官政策補佐官として南北対話や六者協議など政策の実務にも関わった。仁済大学統一学部教授を経て、2018 年 4 月より現職。他に、青瓦台（大統領府）国家安保室諮問委員、民主平和統一諮問会議国民疎通委員長などを歴任。南北関係の政策と現場に精通した韓国の代表的な北朝鮮専門家であり、日本語訳の著書に『冷戦の追憶―南北交流秘史』（2010 年）がある。

6. 入場無料、事前申込不要

7. 主催： 韓国統一研究院（KINU）、早稲田大学韓国学研究所
早稲田大学アジア太平洋研究センター朝鮮半島・北東アジア研究部会

8. お問い合わせ先： 早稲田大学韓国学研究所 wiks@list.waseda.jp